

神奈川山梨教会連合会より

かりん

信徒部長をお受けして

金光教神奈川山梨教会連合会

副会長・信徒部長 山口和賀雄

信徒部長の大役を引き受けてしまいました。山口和賀雄です。信奉者の皆様は「和賀雄」という名前を見ると、これは金光教に関わる人間だとすぐに思われることでしょう。そうなんです。この名前は、父が当時参拝していた神奈川教会の福田源三郎先生に付けていただいたのです。

父は、大阪に住む義姉のお手引きにより入信し、地元の神奈川教会へ参拝するようになり、村田敏男先生が子安教会で布教を始められたことに伴い転籍をしました。

私は中学に上がるまでは、いやいやながら父に連れられ参拝していました。敏男先生は威厳があり、少し怖い感じがする方でしたが、いつも笑顔絶やさず、やさしく接して下さいました。一度、信者さんの子ども達を中津溪谷へ連れて行って下さったことがあります。

おいしい昼ご飯をご馳走になり、水遊びをしたことを今でも懐かしく思い出します。しかし、いつの間にか参拝することがな

くなり、金光教を忘れた生活になっていきました。

私は営業職を長く勤め、ほぼ全国にある顧客への訪問と、その地元での飲食に明け暮れ、教会とか信仰に縁なく生きていました。先代教会長の喜實雄先生は、首都圏布教百年行事や神奈川教会開教百年記念祭のお手伝い、そして、喜實雄先生に「欠席率の高いワカ才君」と言わしめた勉強会へのお誘いなど、節目節目で縁をつないで下さっていました。

それが現在につながっていると思うと、大変ありがたい感謝をしております。

父が亡くなり現役も引退したことなどから、信徒総代をお引き受けし、大祭や月例祭などに参拝をするようになり、そのうち、関係教会への代表参拝や連合会の委員も頼まれ、さらに金光教との付き合いが深まりました。

子安教会の信徒の方々や他の教会の方々との交流が増え、「信念をもって信仰されている方」「日々参拝し熱心に信仰されている方」「知識が豊富で尊敬出来る方」などにお会いすることによって、私の金光教に対する意識も変わってきました。

また、源三郎先生の著書『雑囊』や『信心の復興』などをお貸し下さった方がおられ、その後も色々な書籍をご紹介いただき、とてもありがたい思っております。

私は「おかげは和賀心にあり」は「わが心に信念を持ち、ことに当たればおかげを受けられる(良い方向になる)」と理解し仕事を続けてきましたが、最近では「和らぎ喜ぶ心」で人に接すれば、周りの人たちも「和らぎ喜ぶ心」になり、そのことによつて「ゆとりを持って人生が送れるようになるのかな」と思うようになりました。

福田源三郎先生が、私に何故「和賀雄」という名前を付けてくれたのか、父が亡くなった今では聞くことも出来ませんが、「天地書附」をご祈念するたびに、大病も大けがも大失敗もなく70過ぎまで生きてくれたことは、源三郎先生のご祈念のおかげ、ひいては神様、金光様、霊様のおかげなんだと感じるようになりました。今回、信徒部長のお話をいただいたのは、おかげをいただいていたことに感謝し、御礼するまたとない機会であると思ってお引き受けいたしました。

信心歴も浅く、何もわかりませんが、先生方を始め連合会の皆様のお力添えをいただき、精一杯務めさせていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

コロナウイルスの感染拡大により、連合会の活動が延期や中止になる中、「女性のつどい」が開催できましたことは、神様、金光様のおかげ、そして信徒部委員の皆様のご協力の賜物と強く心に留め、これからも活動に励んでまいります。

「女性のつどい」が開かれました

8月29日(土)午後1時半、子安教会で、「女性のつどい」が開催され、中尾教子さんの「元気なうちに知っておくスマホの三つのこと」というお話を拝聴した。村田光治先生から、ご祈念に続いて、「コロナ感染症の拡大で、次々、教会、教団、連合会の諸行事、集会が中止または延期になっている。一つだけでも、開催出来ることになって有難い。この喜びを祈りに変えて、来年こそはたくさんのお話を出来るように願っていききたい」という挨拶をいただいた。

講師の中尾教子さんのお話はまず自己紹介から。出身は香川県で、大学生まで参拝していたのは牟礼(むれ)教会、その後、仕事の関係で静岡教会や麻布教会に参拝、麻布教会で村田先生と出会われたとか。結婚後も子安教会に住みながら、仕事を続けておられ、仕事の時は、旧姓を使用している。そのため、講師のお名前は「中尾教子」さん。

教育の情報化、一言で言うと、学校で先生や子供たちがコンピュータを活用することを目的とした仕事に取り組みられている。日本は、先進諸国の中では、学校でのコンピュータ活用はかなり遅れている、ところが遊びの世界では、ゲーム機などを持っていく子供の数は非常に多いとか。感染症の影響で、オンライン授業の必要性が高まり、

政府は児童生徒1人に1台のコンピュータの整備を目標にしている。中尾さんは、教員を対象にした講座や、大学での講義などをしながら、コンピュータの普及、活用のための仕事をされている。

中尾さんやお知り合いの実体験をいくつかお話下さった。クロネコヤマトの不在連絡案内が来た。『荷物をお届けに上がったが、不在』というメールで、近日中に実家から荷物が届く予定があったため、うっかり信じそうになったが、これは偽物だった。ラインやツイッターも便利な仕組みだけれども、そこに書かれている情報は、正しいのか、意見なのか、事実なのか、印象なのか、その見極めをしないで拡散したら、ネット社会の中で、自分が偽情報を流す手伝いをしてしまうことになる。

限られた字数では書ききれない、たくさん事例を挙げながら、便利なツールだけれども、思いがけない落とし穴があつて、被害者になることはもちろん、気付かずに加害者になる可能性さえ秘めているのが、スマホなのだと思った。私たちはただスマホの使い方を知るだけ(4ページ中段へ)



○かりんの輪

「信心のありがたさ」

生麦教会 高橋正一

皆様には、コロナウイルス感染の恐怖を感じ、対策しながら、神様に守られ、日々過ぎ、信心の道を歩まれていることと思います。ご本部への参拝も出来ず遠のき、各教会におけるご大祭、ご霊祭も思うように開催されず、参拝も制限され、先生方の教話も拝聴出来ず、信心の浅い方には、金光教、教会から遠のき、離れて行かない心配です。

令和2年は、私にとって「神様から最大の経験、お試し」を頂きました。実は、6月5日までは日々一万歩歩いてました。しかし、6月10日から歩行困難になり、全身に痛みが出て、その痛みには耐えきれず、夜は痛さで寝返りも出来ず、筋力が落ち、ベッドから起き上がれない。杖を頼りの生活になり、夜が怖い日々、辛くて、耐えきれず、死んだ方が...との思いもよぎりました。でも、どうにか前に進むようと、地域支援センターに介護要請の申請をしたり、頭のMRIやCT、神経、筋力検査をするも異常は無く、痛み止めの薬も全く効力無く、担当医にも原因が分からず、辛く耐えきれない日々が続きました。

6月10日、教会長に電話で状況を話しお

各会合が

オンラインで開かれています

新型コロナウイルス感染症の広がりに伴い、連合会の各行事が中止、または延期となつていきます。

そんな中、世の中では「オンライン」や「リモート」といった言葉が声高に聞かれ、この数か月で、老若男女問わず多くの方々の耳に慣れてしまったのではないのでしょうか。

連合会でも、その波が否応なしに押し寄せ、各会合もオンラインでの開催がなされていますので、その様子をいくつかご報告します。

▼教師会

6月29日(月)と8月18日(火)の2回、いずれもZOOMを使ったオンラインでの開催となりました。

6月は、ネット環境のない教会もある中で、今後の活動を見据えて試験的に行われました。内容は、2月開催以来、大祭など交流できる場がなくなったことからでき難くなった情報交換が主に行われました。

8月には、ネット環境のない教会へ、近隣の教会と一緒に参加できるように配慮しながら開催されました。内容は、「社会へ開かれた教会」とのテーマで、川込先生から発表があり、それを元に懇談しました。

▼運営委員会

7月27日(月)と9月2日(水)の2回、同じくZOOMを使って開催されました。これからの行事のこと、来年度の活動へ向けてのことなどが話し合われました。

他、信徒部でもオンラインでの会合がもたれるなど、コロナ禍が続けば、今後も運営委員会、教師会、信徒部の委員会などがこの方法で開催されることが予想されます。しかしながら、全ての教会でネット環境が整っているわけではない状況もありますので、そのフォローをどうするのか、模索しながらの活動が続きます。

(報告 村田光治)



9月2日の運営委員会の様子
こんなPC画面で行います

取次を頂く。驚かれるも、大丈夫、治りませ、おかげを頂きました。このお言葉、そこから、神様、教会長と私の全身全霊の取次が交わされる。日々状況をお届けする、私が電話をしない時は、先生から電話で確認、その繰り返し。最後には、神様にお願いでいるから治ります、おかげを頂きました。我慢出来ない時や、何か行動を起こす前に、「親神様、教祖様、歴代金光様、櫻井浅次郎先生、今村可乃先生、國廣先生」、あるいは、「生神金光大神様」と唱え、お力を貸して頂き、ご都合お練り合わせを頂きますようにとご祈念しての行動の繰り返しでした。体の痛みが薄れ、日増しに良くなり、杖の力を借りて歩けるようになり、8月末にはウォーキングも再開しました。元には戻らないと思つてた身体が、全快ではありませんが、普通の生活に戻り、日々おかげを頂き、嬉しいのですが、こんなおかげを頂いてよいのかとの思いにもなるほど、大変大きなおかげを頂きました。

金光教の信奉者で良かったと心底思います。教会長始め先生方、信徒の方達のご祈念の力を賜り快方へ向かいました。これからは一層に信心の向上を図り、世の為人の為、金光教の為に役に立ち、このご恩に報いてまいります。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を祈願いたします。

令和二年 神奈川山梨教会連合会

生神金光大神大祭日程

教会名	日 程
横浜西教会	10月18日(日) 13時30分
甲府教会	10月18日(日) 13時30分
南甲府教会	10月19日(月) 11時
小田原教会	10月25日(日) 14時
登戸教会	10月25日(日) 13時
大明教会	10月25日(日) 13時30分
子安教会	11月1日(日) 13時30分
横須賀教会	11月3日(祝) 13時30分
生麦教会	11月3日(祝) 13時
丸子教会	11月3日(祝) 11時
相模原教会	11月3日(祝) 14時
平塚教会	11月8日(日) 13時
武蔵小杉教会	11月8日(日) 11時
鶴見教会	11月11日(水) 13時
鶴見教会開教90年記念祭 並 鎌倉教会 布教90年記念祭 併 新築落成奉告祭	11月14日(土) 13時30分
野毛教会	11月14日(土) 13時30分
大磯教会	11月14日(土) 13時
神奈川教会	11月21日(土) 11時30分
藤沢教会	11月28日(土) 11時

(↓2ページ中段より)

ではだめで、賢い利用者にならねばならないと実感した半日だった。詳しくお知りになりたい方は、スマホまたはパソコンで、金光教神奈川山梨教会連合会のホームページを検索して下さい。来年こそは行事や集会が滞りなく開催できるように、ウイルス終息のご祈念に力を入れることを誓って散会した。6教会から12名の参加だった。
(報告 大塚東子)

【お知らせ】

5月発行の74号に掲載した「今年度連合会活動の予定変更について」で、各行事の開催の可否をお伝えしましたが、その後の状況変化に伴って再変更された点を改めてお知らせします。

○信徒部

・地域交流会

11月開催予定

・講話と夕食の会 12月5日開催予定

以上のように記載されておりましたが、「地域交流会」「講話と夕食の会」ともに今年度の開催は中止となりました。「講話と夕食の会」は、今年度予定していた内容で、来年度に開催する方向です。どうぞお楽しみに。

〈な・が・れ〉

「女性のこころを思わねたこと」

編集子

2ページに掲載されたように、8月29日に「女性のつどい」が無事に開催された。このコロナ禍のこと、やむなく参加を見合わせた方もおられましょう。振り返って、多くの方々の祈りの上に、万事にお繰り合わせをいただいていたの開催だったと思わされる。

講師は講話の中で、話題ごとに参加者に向けて質問を出し、その答えを紙に書かせて、参加者全員で共有できるようにした。例えば、「スマホを何に使っていますか」「スマホに何が入っていますか」などなど。

それについて講師から後で聞かされたことは、「いつもなら懇談の時間があるけど、今回はできないので、その代わりに声を出さない意見交換として行った」とのことだった。加えて、最後の質疑応答では、質問とその答えに絡んで、様々な言葉が飛び交った。

言葉少なにと皆が思いつつも、凶らずも出てしまった多くの言葉。それらを聞いて、オンラインでの会議や飲み会も必要だが、やはり人と人が対面して交わされる言葉には力があることを思わされた。来年に期待。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 山田 信 一

〒245-0017 横浜市泉区下飯田町926・23
金光教横浜西教会内